

日本発トスカーナ便り：Firenze の夕焼け

久々にドイツ語圏以外の国に行ってきました。行き先はイタリアのトスカーナ。大好きな Firenze（フィレンツェ。ドイツ語では Florenz：フロレンツと言います）です。
フランクフルトから飛行機で 1.5 時間位。アルプスを越えてフィレンツェへ。
行きの飛行機から、イタリア人が多いのか、何だか賑やかです。☺

空港からバスに乗って街の中心まで約 30 分。ホテルに着いたのが 20:00 くらい。まだまだ明るくて、暑いです。ざっと荷物を広げて、早速、久々の Firenze の街を散歩。



中央駅近くの Santa Maria Novella（サンタ・マリア・ノヴェッラ教会）。だんだん日が暮れてきました。夕日がなかなか素敵なので、（ホントはそのままご飯を食べに行こうと思っていたのですが）もう少し散歩して夕焼けを楽しむことに。Firenze には、高い建物がなくて、空が広いので、夕焼けが本当に綺麗なんですよ。



Duomo（大聖堂）夕日が当たって、ピンク色に染まっていました。隣は、Campanile di Giotto（ジョットの塔）いつも圧倒される美しさ！この Duomo 前の広場は、いつでも人でいっぱい賑わっています。Duomo に「帰ってきたよ」とご報告。☺



Piazza delle Repubblica（共和国広場）。回転木馬がキラキラ光って綺麗です。



だんだん街に明かりがともります。見えてきたのはPalazzo Vecchio（ヴェッキオ宮殿）今でも市庁舎として使われています。



Galleria degli Uffizi（ウフィツィ美術館）メディチ家歴代の美術コレクション（主にイタリアルネサンス）を収蔵する、イタリア最大の美術館です。かの有名なボッティチェリの「ヴィーナスの誕生」や「プリマヴェーラ」があるのがこの美術館です。いつも大変な大行列なので、行くときは、予約がお勧めですよ。後ろを振り返ると、ヴェッキオ宮殿の塔が見えます。美術館を抜けると、Fiume Arno（アルノ河）です。



Ponte Vecchio (ポンテ・ヴェッキ橋) の眺め。川面に映る光が綺麗です。川岸にはピクニック(?)の人々が…。音楽を演奏する人とかいて賑やかでした。もしかしてパーティーだったかな？



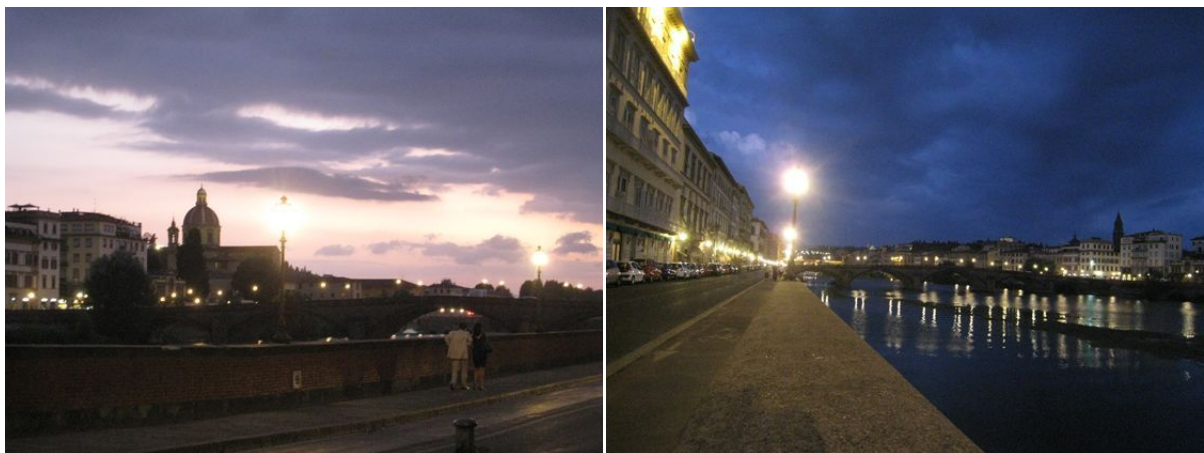
この橋の上には、素敵な貴金属・宝石店が並んでいます。この橋、いつ見ても、でこぼこはみ出しているし、いろんな色だし、よくこんな橋造ったよな。と思います。でも何だか素敵に綺麗なんです。イタリアの作曲家、Puccini (プッチーニ) の有名なオペラ Gianni Schicci (ジャンニ・スキッキ) 中のアリア、O mio babbino caro (私のお父さん) の中に、「ポンテ・ヴェッキオ橋にいて、アルノ河に身を投げるわ！」というフレーズが出てきますよ。また、第二次世界大戦で破壊されなかった唯一の橋でもあります。



夕焼けを楽しみながら、アルノ河沿いを散歩。日が落ちると少し涼しくなります。



Ponte Santa Trinita (トリニタ橋)。この橋からの景色も素敵ですよ。



21:30 ごろにはすっかり日も暮れて…空の色が本当になんとも言えない美しさです。

少しだけ Firenze のお勉強…。

トスカーナ州の首都 Firenze。住民の数は 37 万人程度。(周辺の住民を入れても 60 万人。) この街に年間約 750 万人も観光客が訪れるというから、驚きじゃないですか？(内訳は、イタリア人 200 万人、それ以外 550 万人だそうです) また歴史地区(街の中心部)がユネスコの世界遺産に登録されています。ところで、今年 2011 年はイタリア統一 150 周年。1861 年の統一当時の首都は Torino (トリノ)。ただ、このときはまだ Venezia (ヴェネチア) が統一されていなかったため、1870 年、Venezia が統一されて、イタリアの今の形になりました。あまり知られていませんが、1870 年に首都がローマに移るまでの一時期(1865 年～70 年)、ここ Firenze がイタリア王国の首都だった時期もあるんですよ。

そんなこんなで、久々の Firenze から。まずは夕焼けをお届けしました。☺

